

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器 輸血・カテーテル用アクセサリセット 70326002
(輸液・カテーテル用アクセサリセット 70326009)

PNロック UD

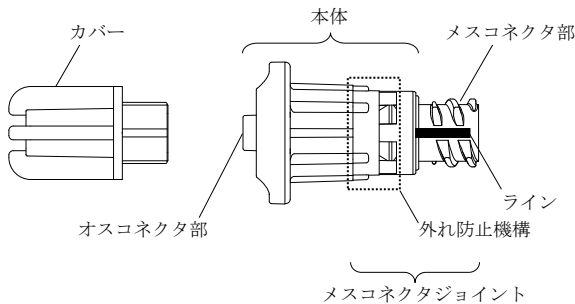
再使用禁止

【禁忌・禁止】

再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

〈構造図〉



*〈原材料〉

構成部品	原材料
本体 ^{*1}	ポリカーボネート
メスコネクタジョイント ^{*1}	ポリプロピレン

*^{※1} 潤滑剤としてシリコンオイルを塗布する場合がある。

*〈仕様〉

項目	性能
耐圧性	-20～200kPa

〈原理〉

本品は、他の医療機器に構成される指定の針不使用式混注部に接続し、薬液の投与、採血を行う器具である。
外れ防止機構を作動させると、本体とメスコネクタジョイントが互いに空転し、メスコネクタ部と輸液セット等のオスコネクタとの接続が緩んだり、外れたりするリスクを低減する。

【使用目的又は効果】

輸液セット、輸血セット等に用いるコネクタであって、医薬品の投与、採血を目的とする。

【使用方法等】

1. 包装から本品を取り出す。
2. メスコネクタ部のラインを手前にして本体を把持しながら、本品のメスコネクタ部に輸液セット等のオスコネクタ（ロックタイプのもの）を回転させて確実に接続する（図 1）。

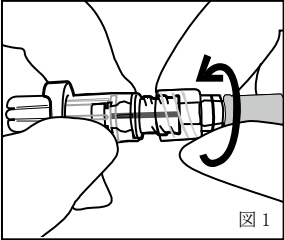


図 1

3. 外れ防止機構を作動させるため、本体を把持したままラインを注視し、ラインが 1 回転して手前に戻るまで輸液セット等のオスコネクタとメスコネクタジョイントをさらに回転させる（図 2）。正しく外れ防止機構が作動すると、輸液セット等に接続された状態で、本体が回転する。

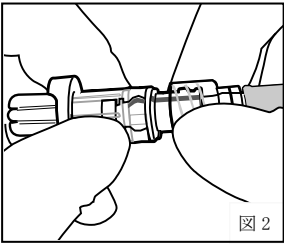


図 2

4. 本品のオスコネクタ部先端まで薬液を満たす。
5. 接続するプラネクタ^{*2}の混注口及びキャップ天面を消毒用アルコール綿等で消毒する。

※2 プラネクタはニードルレスの混注部位を有する以下の構成部品の総称である。

〔構成部品〕

プラネクタ、プラネクタ二連マニホールド、プラネクタ三連マニホールド、プラネクタ SC、プラネクタ SC 二連マニホールド、プラネクタ SC 三連マニホールド、PN プラグ

6. 本品のカバーを外し、本体を把持し、本品のオスコネクタ部をプラネクタの混注口にまっすぐ押し込む。押し込んだ状態で PN ロックナットをそれ以上回らない位置まで右に回転させ、プラネクタの突起（ツメ）と接続する。
7. プラネクタから取り外す際は、本体を把持し、押し込んだ状態で左に回転させ、ゆっくり取り外す。

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

1. メスコネクタ部を他の医療機器と接続する際は、次の事項に注意すること。
 - (1) メスコネクタ部と接続する輸液セット等は必ずロックタイプの製品を使用すること。
 - (2) メスコネクタ部のテーパ部に薬液等が可能な限り付着しないように注意すること。〔接続部に緩み等が生じるおそれがある。〕
 - (3) まっすぐ緩みなく接続すること。〔確実に接続しないと十分な流量が確保できないおそれがある。また、斜めに接続すると、メスコネクタ部から液漏れが生じるおそれがある。〕
 - (4) 輸液セット等に接続後、本体を把持したままラインを注視し、ラインが 1 回転して手前に戻るまで輸液セット等のオスコネクタとメスコネクタジョイントをさらに回転させ、正しく外れ防止機構が作動し、接続が固定されていることを確認すること。正しく外れ防止機構が作動すると、輸液セット等に接続された状態で、本体が回転する。〔確実に接続しないと、外れや液漏れが生じるおそれがある。〕

- * 2. オスコネクタ部をプラネクタに接続する際は、本体を把持し、オスコネクタ部をまっすぐ押し込んだ状態で P N ロックナットをそれ以上回らない位置まで右に回転させ、確実にロックされていることを確認すること。 [接続が不十分な場合、外れ、液漏れ又は空気混入が生じる。]
3. プラネクタと本品の接続部には、横方向に過度な負荷を加えないこと。 [プラネクタのキャップ又は各接続部が外れ、液漏れが生じるおそれがある。]
4. プラネクタとの接続を外す際は、本体を把持し、押し付けながら左に回転させ外すこと。 [本品を引っ張りながら回すと、プラネクタの突起 (ツメ) が削れ、ロックの固定ができなくなるおそれがある。]

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1. 使用中はコネクタの接続の緩み、液漏れ及び破損等に注意し、定期的に確認すること。
2. 接続し、外れ防止機構作動後は、メスコネクタ部を他の医療機器のオスコネクタから外すことができない。 [外れ防止機構が正しく作動した状態で無理に外そうとすると、メスコネクタ部が破損するおそれがある。]

〈不具合・有害事象〉

その他の不具合

空気混入、漏れ、外れ、緩み、過少投与、破損、削れ

【保管方法及び有効期間等】

〈有効期間〉

3 年 [自己認証(当社データ)による]

包装の使用期限欄を参照すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

株式会社ジェイ・エム・エス

問い合わせ先

TEL 0120-923-107